

読み聞かせていろいろ

絵本を読んでもらうことは、子供にとって人との「触れ合い」の大切な時間です。新しいことばや世界を知り、想像する力や考える力も育まれます。

そして、子供たちは、ひとりでも本や文字の世界へ入っていけるようになっていきます。



絵本と体験をつなげて遊びましょう

「はっぱじゃないよ ぼくがいる」 姉崎一馬 文・写真 アリス館 出版
「どんぐりころちゃん」 みなみじゅんこ 作 アリス館 出版

このような自然に関する絵本を読んでから、公園などで身近な自然に直接触れて、体験を豊かにしましょう。

遊び方など詳しくはこちらへ
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/oyakoasobi4.html>



読み聞かせていろいろ



あなたに役立つ家庭教育支援のページ「親子コミひろしま」
広島県教育委員会生涯学習課

